

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7-11  
府教育会館704号  
TEL 06-6765-8904  
FAX 06-6765-8905

## 府人勧どおり、給料・一時金を4月に遡って引上げ 非常勤職員の報酬 期末・勤勉手当は常勤職員に準じ改定 子の看護休暇「学校行事への参加等」も取得可能に

### 2024府労組連秋季闘争

11月5日と11月13日、府労組連（大阪府関連労働組合連合会）は秋季要求の実現を求めて府当局との団体交渉をおこないました。

13日、総務部長は府労組連に対し、秋季要求に対する最終回答をおこないました。

#### 全職員に対して

#### 生活改善につながる賃上げを

大阪府人事委員会勧告では、職員給与は、民間給与より、11693円下回っていると、月例給 一時金（ボーナス）ともに引上げる2年連続のプラス勧告でした。しかし、中堅・ベテラン層は昨年の一律500円引上げに続き、一律3300円の引上げという内容でした。今回の交渉では、

- 今季の主な最終回答**  
○府人事委員会勧告どおり実施
- 【2024年4月に遡って実施】
- ・全職員対象に給料表引上げ  
行政職初任給：大卒23, 800円  
高卒21, 400円  
若年層に重点を置きつつ引上げ  
概ね40歳台後半以降は一律3, 300円
  - ・一時金（ボーナス）を年間0.1月分引上げ  
（年間4.6月、再任用職員2.40月）  
期末手当と勤勉手当に均等に配分
- ※12月10日支給
- ・会計年度任用職員の報酬、期末・勤勉手当は常勤職員に準じ改定
  - ※差額支給の時期は、11月府議会での条例議決後に示す
- 【2025年4月より実施】
- ・扶養手当：配偶者分（6, 500円）を廃止、子の額を増額10, 000円→13, 000円（2025年度は経過措置 配偶者3, 000円 子ども11, 500円）
  - ・技能労務職給料表：1級の最低水準を引上げ
- その他
- 【2025年4月より実施】
- ・子の看護休暇：「子の学校行事への参加等※」も対象となるよう見直す（※入園・入学式、卒園・卒業式、感染症に伴う学級閉鎖等）
  - ・非常勤職員の子の看護休暇及び短期介護休暇  
雇用期間6か月以上の要件を撤廃
  - ・育児、介護、転職等により退職した教職員を対象とした採用選考を実施
- 【2025年10月より実施】
- ・育児部分休業：1年につき10日相当時間数の範囲内での取得が選択できるよう拡充
  - ・非常勤職員の育児部分休業：子の対象年齢を小学校就学前までに引上げ
  - ・その他、育児・介護休業法の改正に伴う取扱いについて国家公務員に準じて見直す

#### ねばり強い運動の到達

総務部長から示された最終回答では「人事委員会勧告の取扱いについては、勧告どおり実施」とし、以下の回答がありました。

①給料表を2024年4月1日に遡って引上げ、

②期末・勤勉手当を2024年4月1日から年間0.1月分引上げ、年間4.6月分に改定、

③非常勤職員の報酬及び期末・勤勉手当は、常勤職員に準じ2024年4月1日に遡って改定

#### 教職員の増員、長時間過密労働解消の抜本的な対策を

11月13日の職員長との団体交渉では、大障教からは支援学校の深刻な実態を訴え、教職員の増員はもとより、欠員の補充、「前倒し任用」の拡大、臨時教職員の待遇改善についてつよく求めました。交渉では、学校や知事部局から現場の深刻な実態や切実な要求が出され、府当局に改善を求めます。

#### 書記局のニュース

NEWS

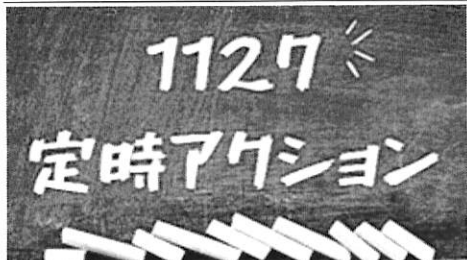
戦後3番目の低得票率53.85%となった総選挙でしたが、自民・公明与党過半数割れの審判を国民が下したことは大きな意義があります。衆議院の常任委員長のうち予算委員長などの8ポストが野党に割り当てられたことで、これまで国民世論の反対を押し切ってきた安倍政権以降の国会運営のあり方を止す流れが出てきました。

12月2日に迫った健康保険証の新規発行を停止し、マイナンバーカードと保険証を一体にする「マイナ保険証」の一本化を自民・公明政権は強行しようとしています。テレビなどのCMでもマイナ保険証に切り替えることで保険証がパワーアップするのようになっています。

しかし、全国保険医団体連合会が10月発表したアンケートでは今年5月以降、約7割の医療機関でマイナ保険証、オンライン資格確認に関するトラブルが発生しています。そのトラブル対策として9種類の資格確認方法が存在する結果となり医療現場の大混乱は必至です。結局、資格確認ができない場合に、患者が10割負担を求められるリスクが高く、わざわざ切り替える必要性がないため利用率は9月で13.87%しかありません。

また、現行の健康保険証は国が責任を持って発行するのに対し、マイナ保険証は申請主義のため、自己責任で5年ごとの登録更新の手続きを怠ると、資格証明の役を果たさなくなります。健康保険料をきちんと払っていても、登録更新しなければ「無保険扱い」になり、全額自己負担しなければなりません。

主要野党は「健康保険証を残す」と公約しました。選挙で示された民意を踏まえ、政府は現行保険証を残す決断をすべきです。



# 「1127全国一斉定時アクション」 #せんせいふやそう

## SNSデモ

11月27日(水)  
退勤時間~20:00

定時を過ぎたら投稿しよう！  
#せんせいふやそう  
#このままでは学校がもたない  
#1127定時アクション

現場から届ける声



8月27日、中央教育審議会  
は、「『令和の日本型学校教育』  
を担う質の高い教師の確保のた  
めの環境整備に関する総合的な  
方策について」を答申しました。  
問題点として大きく3点あげら  
れます。  
1点目は、「持ち授業時数の  
上限を設定」、「基礎定数の増  
加」を否定し、加配定数での対  
応をおこなうとしたことです。  
しかし、加配定数では根本的な  
定数増にはなりません。「クラ  
ス数×「乗ずる」数」によつて  
算出される基礎定数増こそ最優

中教審答申では、長時間過剰労働・  
教員不足の解消はできない！

**SNSデモ 17~20時**  
XとFacebookの全教アカウントより発信  
リポストやいいね！を  
#1127定時アクション #せんせいふやそう  
#このままでは学校がもたない

先されるべき政策です。  
2点目は、労働時間に法的な  
歯止めをかける時間外勤務手当  
を否定したことです。文科省は  
教職調整額の増額（4%→13  
%）を予算要求でうちだしてい  
ますが、時間外2.0時間程度の  
額にすぎません。そもそも給特  
法では、教員の労働時間につい

机上に置いて、定時アクション  
をアピール



て、時間外勤務は『自発的なも  
の』とし「時間外在校等時間」  
として処理されています。残業  
代支給の仕組みがなければ、長  
時間労働は解消しません。  
3点目は、「新たな職」と  
「級」の導入です。職階を増や  
すことで、教職員間に序列を持  
ち込み、収入面からも格差が広  
げられ、教職員の協力が不可欠  
な学校現場の破壊につながりか  
ねません。  
給特法改定案は来年2025  
年1月開会の通常国会に提出さ  
れます。この問題を社会的にア  
ピールし、長時間労働解消に向  
けた改善策を求めるために、全  
教は「全国一斉定時アクション」  
が呼びかけています。第1回目  
は、11月27日(水)、勤務  
時間終了と同時に全国でいっせ  
いに定時アクションをおこなひ  
ます。あわせてSNSデモも呼  
びかけます。



職場をもっと働きやすく良くしたい  
佐野支援分会 山本 大地さん



「組合」というものを初めて意識したの  
は2004年、プロ野球球団、近鉄バファ  
ローズの他球団との合併・消滅、更には2  
リーグ制の廃止提案でした。ファンだった  
中学生の私は非常に落ち込みました。そん  
な時、この騒動に一番反対したのは選手た  
ちでした。プロ野球選手会が合併反対を掲げ、動いたのです。  
最終的には全球団のストライキにまで発展。残念ながら合併は  
回避できませんでしたが、自分たちの野球界のために奮闘する  
選手たちに大きく感動しました。

自分たちの労働環境を守り、良くするためには、自ら動いて  
いく必要があります。職種は全然違いますが、教員の組合も本  
質的には労働組合として選手会と同じだと思います。「職場を  
もっと働きやすく良くしたい」このためにわたしは組合に入っ  
ています。

## 第24回全国障害児学級・学校学習交流集会in滋賀

日程：2025年 1月11日(土)~12日(日)  
会場：大津市民会館 など  
1日目全体会

【報告：子どもたちの「願い」を大切にした  
教育実践のリアル】  
青年教職員の実践報告と白石正久さん（龍谷大学名誉教授）  
白石恵理子さん（滋賀大学教授）の助言

毎年1月になると、この学習交流集会に参加できるのを楽しみにしてい  
ます。全国の先生たちのレポートを聞きながら、目の前の子どものこと  
を思い浮かべ、実践のヒントをもらったり、「明日からまたがんばろう！」  
と元気をもらったりしています。また、魅力的なたくさんの講座もあり、  
貴重な学びの場でもあります。今年の開催地は、なんと滋賀県！糸賀一雄  
さんの「この子らを世の光に」という言葉で代表されるように、子どもたちに寄り添った発達保障の考え方・  
実践が根付いている場所です。僕自身もレポートを発表しますので、良かったら聞きに来てもらえると嬉しい  
です。今年の1月は、滋賀県でお会いできるのを楽しみにしています！  
(思斉支援分会 奥 正行)

